

こんがー新聞

06.3.No107
発行 市岡融夫
発責

祖谷への思い出学習発表会



二月十九日、折之瀬小学校の学習発表会、一年間が学んだ事を劇や合奏で発表しました。私の印象は、「発見！祖谷のすばらしさ」が「ふるさと祖谷を学ぶほうし」も年ごとの自然や平家伝説などに目を向けようというところ。また、全員が手話歌「セリーブ」を歌いました。また、全員が手話歌「セリーブ」を歌いました。だが、「セリーブ」と「セリーブ」を歌いました。ふもむたらが、一年かけての自分ごとこの大空を感動させられた時間。もともと目的をどう生かすか、ひければ、子供に受け入れられてほしいというふうです。

折之瀬小

手話歌「セリーブ」全員ご!!



不便は豊かき心を作ってくれます!!
祖谷の風は、心がいれくれます!!
祖谷村の村民に

村民第一号は

安田(徳島市) さき

活彩祖谷村の晴れの第一号は安田さんです。オ一回の準備会の前から、村の名前も本当に村としてスタート出来るか不明の時に「セリーブ」登録をしようと熱望されてきました。安田さんは、池田高校祖谷分校に赴任された時に、めんめ製の準備中、植物やムについて教えを頂いて、様々な面が祖谷をサポートして下さる力を貸してくれたに感謝しました。開村式11名がスタートして村民、北海道から津波まで村民が増えて、現在(21日)16名までになりました。



アニー

外国人の第一号が村民となりました。アニーさんは、釣井ちいかりの弟刈りに参加したので、はひまりで昨年六月月ペーに、ちいかりのスタッフとして祖谷で暮らして、今、アニーさん下で帰国して下さるが、またまた祖谷に来たことになりました。アニーさんは、植物に詳しいし、桑の葉や山毛ぶつが、ヤマをやってください、美味しかったのが印象に残っています。オ一回の準備会でもアニーさんが、祖谷でも照明をほひめ、会場の演出に才能を発揮し、スタッフの一人として参加していただきました。アニーさんの祖谷村のほひめこの仕事として、畑耕作、三月二十五、二十六日、菅生においで、こうやアニーさんがサレを植える予定がある。参加出来る人は連絡して下さい。汗を流せば気分はさわやか